電話相談活動

日本語相談

※日本語相談の統計数字は日本いのちの電話連盟にあわせて年（1月～12月）で集計

1. 一般電話相談　　045-335-4343

（1）年中無休24時間体制の電話相談活動を継続した。

（2）実働相談員176名（前年177名）が原則として月2回の電話担当に入り、21,256件（前年21,509件）の電話相談を受信した。

2. 専門相談（心理･法律）

専門的援助を必要としているかけ手に対しては、一般相談から専門相談につなぎ対応した。

受信件数　心理専門相談　285件（前年298件）　　法律相談　93件（前年39件）

3. フリーダイヤル「自殺予防　いのちの電話」　　0120-738-556

（1）厚生労働省の自殺防止対策事業（自殺防止対策事業補助金交付）である「自殺予防いのちの電話」に引き続き参加し、毎月10日フリーダイヤルで相談を受けた。

（2）県及び市町村に、ポスター、カード配布等の広報活動を行った。

（3）受信件数774件（前年684件）　うち自殺に関する件数204件（前年185件）、担当した延べ相談員数192名（前年192 名）

4. 外国語相談　LAL（Linea de Apoyo al Latino）　　フリーダイヤル

※外国語相談の統計数字は会計年度（4月～3月）で集計

（1）主に中南米からの外国籍県民を対象に母語（スペイン語・ポルトガル語）のメンタルヘルス相談を横浜市の全面的援助により実施した。相談員の国籍は10 ケ国で、担当した相談員数は60人（うち日本人12 人）である。（前年は9ヶ国で、担当した相談員数は59人（うち日本人13人））受信件数　1,179件（前年1,126件）スペイン語330件（前年347件）、ポルトガル語849件（前年779件）

（2）開局（1993年9月1日）以来の受信件数は22,896件である。

研　　修

日本語電話相談員

1. 養成研修

（1）応募者30名（前年33名）のうち、体調不良・家庭の事情等による辞退者5名を除く19名（昨年23名）を選考（小論文･適性検査・面接）し、4月から9月まで人間関係基礎研修・ロールプレイ研修、10月から2月まで基礎講義・電話インターン研修等を実施した。

（2）相談員としての適性を審査した結果、研修開始後の辞退者5名を除く9名（前年12名）が認定され、3月26日（土）に認定書を授与した。4月より相談活動に入る。

2. 継続研修

相談員としてのスキルの維持・向上のため、初任者研修・地区別グループ研修・全体研修・継続スーパービジョンが義務付けられている。

（1）初任者研修

認定された直後の相談員を対象に、1年間、月1回研修を実施した。

（2）地区別グループ研修

相談員は15の地区別グループのいずれかに所属し、月1回の研修に参加した。

グループは学びと共に、相談員同士の支え合いの場となっている。

（3）全体研修

第1回　「若者支援の活動の中から見えてくるもの」

講師　蟇田　薫氏（NPO法人育て上げネット　若年者就労支援事業部長）

7月4日（土）14:00～16:00

於：ウィリング横浜5階研修室（105名参加）

第2回　「相談員のためのメンタルヘルス～メール相談7万件の経験から～」
講師　山本　晴義氏（横浜労災病院　勤労者メンタルヘルスセンター長）
9月26日（土）14:00～16:00
於：ウィリング横浜5階研修室（108名参加）

（4）継続スーパービジョン
7名のスーパーバイザーに依頼し、1人120分のスーパービジョンを、180名（前年139名）が受講した。

3．研修担当者

（1）研修担当者会
相談員養成研修、相談員継続研修など研修全般に関わる内容について、企画、提案、課題対応を行うために年5回開催した。

（2）研修担当者の研修
研修担当者としてのスキルアップを図るため、事例研修を中心に7回の研修を実施した。また、近隣の他センターにも呼びかけ1泊研修（ファシリテーター演習）を実施し、静岡、川崎センターからの7名含め18名の参加者があった。

（3）研修担当者養成研修
研修担当者を養成するため、研修担当者研修と合同で事例研修、宿泊研修を実施した。養成生2名のうち1名については、3月26日（土）に研修担当者として委嘱状を授与した。ほか1名については研修を継続する。

外国語電話相談員

1．養成研修

（1）相談員養成研修はスペイン語・ポルトガル語ともに5月から12月まで24回の講義（理論・ロールプレイ）、1月から3月まで34回の電話インターン研修を実施した。

（2）研修生13名のうち6名（スペイン語3名・ポルトガル語3名）が認定された。国籍はペルー2名、ブラジル3名、日本1名である。3月26日（土）に認定書を授与した。4月より相談活動に入る。

2．継続研修

毎月1回、各分野の専門家による講習会及び事例学習を実施した。

活動報告

対外活動

（1）神奈川県自殺対策行政の一環として、年2回の「かながわ自殺対策会議」へ委員として参加した。
（2）横浜市主催の「よこはま自殺対策ネットワーク協議会」へ、委員として年5回参加した。
（3）相模原市自殺対策協議会へ、委員として年2回参加した。
（4）官民共催のAIDS文化フォーラムin横浜の委員として、年4回組織委員会に参加した。
（5）内閣府主催H27年度自殺対策官民協働ブロック会議に、横浜市民間代表として参加した。
（6）かながわ自殺対策会議のメンバーと、9月10日（金）JR横浜駅構内で自殺防止啓発のチラシを配布した。
（7）連盟主催でJR関係者と、10月9日（金）JR横浜駅構内で「自殺予防いのちの電話」のチラシを配布した。
（8）横浜市、厚木市、海老名市、大和市などの各機関、教会等への、「傾聴」に関する講師派遣を合計14回実施した。
（9）ブラジル領事館主催有識者会議に、外国語相談LALから毎月参加した。また、11月にブラジル領事館に同行し、茨城県洪水被災地への慰問活動に参加した。
（10）厚生労働省自殺防止対策事業の一環として、市民に自殺防止の普及・啓発を図るために、開局35周年記念の公開講演会を開催した。
「闇の中から再び生きる力を」　講師　柳田　邦男氏（ノンフィクション作家）
2015年9月11日（金）19:00～21:00　253名　戸塚区民文化センター　さくらプラザ

相談員委員会

（1）地区別15グループと初任者グループから選出された相談員委員により構成されている。

（2）各グループの委員に加え、事務局長、研修担当者会、相談関連部会、LALをオブザーバーとして、毎月第1土曜日13：30～15：30（8月は休会）に定例会を開催した。

（3）電話相談活動における課題解決や情報交換を行い、相談員相互の連携を深めた。

事業支援委員会

横浜いのちの電話の活動をより社会に広め、運営資金を得ることで事業を支援するために、次のような活動を実施し、法人会計へ220万円の繰り入れを行った。また、このような支援活動を通して、横浜いのちの電話の支援と協力をお願いする広報活動を実施した。会員数約60名

1．バザー部会

（1）毎回20名前後の会員が月3～4回の仕事会に参加し、バザー商品を製作した。

（2）出張バザーを21会場（カトリック雪ノ下教会・日本基督教団横浜港南台教会・日本基督教団鎌倉恩寵教会・フレンドリースペース金沢・カトリック鶴見教会・横浜国際フェスタ・カトリック山手教会・カトリック渋谷教会・戸塚フォーラム祭り・ブラジリアンフェア・若葉インターナショナルフェスタ・カトリック二俣川教会・カトリック菊名教会・興和台団地まつり・日本基督教団逗子教会・湘南YMCA・かるがもふれあいフェスタ・横浜いのちの電話新年会・ハウススクエア横浜・横浜いのちの電話春の映画会・その他）の協力を得て実施した。

2．催し物部会

（1）秋の催し　横浜いのちの電話35周年記念コンサート
高嶋ちさ子ピアノクインテット「Strings on Fire」
2015年10月23日（金）　18：30～20：40　於：関内ホール
チケット売上990枚　　当日入場者数992名（含招待者）

（2）春の映画会「あん」
2016年3月11日（金）第1回（昼の部）14：30~16：30　第2回（夜の部）18：30~20：30
於：戸塚区民文化センターさくらプラザホール　チケット売上803枚　　当日入場者数730名

広報活動

1）広報「横浜いのちの電話」の発行　89号（5月）・90号（11月）

2）事業報告書の発行　（7月）

ボランティア間の交流

横浜いのちの電話では、日本語相談・外国語相談・事業支援ボランティア・特別技能ボランティアが活動しており、単独または合同での場を設け、相互の交流を深めている。

1）外国語電話相談員総会	4月25日（土）	10：00～12：00	31名
2）外国語電話相談員クリスマス会	12月19日（土）	13：00～15：00	20名
3）新年会	2016年　1月　9日（土）	12：30～14：30	61名
4）日本語電話相談員の集い（含2014 年度事業報告説明）	2月11日（祝木）	13：30～17：00	57名
5）相談員と心理専門相談員との交流会	2月27日（土）	14：00～16：00	36名

募金活動

横浜いのちの電話の活動のために多くの維持会員・賛助会員から寄付をいただいた。

寄付金収入合計　6,144,202円　（前年6,202,309円）

維持会費476件（個人444件　団体10件　法人22件）2,622,000円（前年2,615,260円）

一般寄付453件（個人376件　団体55件　法人22件）3,522,202円（前年3,587,049円）

神奈川県自殺対策緊急強化交付金事業
神奈川県より200万円の交付金を受け、相談員の研修及び募集広報資料制作等、自殺防止対策のために使用した。

その他

相模原市自殺予防電話相談業務を受託（2013年度より3 年間継続活動中）

（1）相模原市は、自殺総合対策の一環として、「自殺予防電話相談業務」を実施している。一人で抱え込まず相談する中で一緒に生きる道を探す一助とし、相談者の苦悩の実態を把握することで、自殺総合対策に役立てることを目的としている。

（2）横浜いのちの電話では相模原市から業務委託を受け、毎週日曜日（年末・年始を除く）の午後5時から午後10時まで、その相談業務を担っている。　2015年度実績　51日間

（3）相談内容
自殺に追い込まれそうな人の相談、大切な家族等を自殺で亡くした遺族の相談、不安・孤独・絶望に悩んでいる人の相談等

横浜市社会福祉協議会会長表彰受賞
2015年11月17日（火）第35回横浜市社会福祉協議会において、『30年以上の永きにわたり、社会福祉協議会員として地域福祉の推進に貢献し、その功績が顕著なもの』として、社会福祉法人横浜いのちの電話が、会長顕彰をいただいた。

相談員数と受信件数

相談員数

日本語相談		**253**名
専門相談	心理専門	**17**名
	法　律	**4**名
外国語相談		**60**名

受信件数

日本語相談*	実相談数	**21,256**件
	（うち自殺志向）	**2,581**件
	（うち自殺予防ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ）	**774**件
専門相談	心理専門	**285**件
	法　律	**93**件
外国語相談*	スペイン語	**330**件
	ポルトガル語	**849**件

＊日本語相談受信期間（2015年1月1日～2015年12月31日）
＊外国語相談受信期間（2015年4月1日～2016年3月31日）

受信状況の推移

年度		日本語（件）*	外国語（件）*
2006	4～3月	21,478	1,365
2007	4～3月	21,673	1,116
2008	4～3月	22,028	1,037
2009	4～3月	21,142	1,239
2010	4～3月	22,067	1,429
2011	1月～12月	22,051	945
2012	1月～12月	21,526	950
2013	1月～12月	21,728	792
2014	1月～12月	21,509	1,126
2015	1月～12月	21,256	1,179